



焼津さかなセンターにて

旅情を誘うSLに乗車

～ 秋の日帰りバス旅行 ～

三重県保険医協会は、平成25年11月10日、恒例の秋の日帰りバス旅行を開催した。今回は「大井川SL鉄道とお寿司食べ放題」で、会員・家族・従業員等の総勢42人が参加した。

秋の日帰りバス旅行に参加して

津市 石倉 紀男

土曜日は快晴なのに日曜日は低気圧の通過で雨の予報は、運悪く的中した。大井川鉄道の始発駅、新金谷駅では、出発までの待ち時間に、SL急行券発売窓口「プラザ・ロコ」に立ち寄った。プラザにはSLを撮った優秀作品が多数掲示されていて、四季折々のすば

らしい景色を観賞できた。われわれの乗った昭和15年製SLは、雨の中、新金谷駅から家山駅まで30分を



ご夫婦で参加、石倉紀男氏(右)

ゆつくり走った。茶畑に白い斑点のごとく茶の花が咲いていた。天気が良ければ、外の景色と汽車の煙がミックスしてより旅情が深まったのにと残念であった。焼津さかなセンターでは、寿司食べ放題の昼食。車中でもらったおやつで、空腹感が消えていった。高年齢になると、食べ放題、飲み放題はそれほど魅力でなく、量より質を期待する。



大井川鉄道と魚市場の寿司食べ放題

津市 中川 直樹

SLと寿司、私の大好物ではないですか。早速妻と



中川直樹夫妻



みなさん、早い者勝ちですよ

参加をお願いしました。バス旅行は楽しみです。ピーンと口を採算にあいませぬね。多分。リベンジで市場の中の寿司屋にトロを食べに行きました。ハハハ、食欲の権化ですね。でも安い。おいしい。大満足です。担当の大杉先生、事務局員の皆さんありがとうございました。いつもお世話になるばかりです。恐縮して感謝しております。ありがとうございました。



平野 貴嗣 氏を

特定秘密保護法(案)の衆議院通過に異議を唱える声明を発表

2013年11月26日

三重県保険医協会
会長 渡部泰和

三重県選出
国会議員各位

前略 私ども三重県保険医協会は、三重県の医師・歯科医師約2,000人で構成し、患者・国民の健康と国民皆保険制度を守るために活動しています。

11月7日国家安全保障会議設置法案(日本版NSC)が衆議院本会議で可決され、安全保障の機密情報を外部に漏らした国家公務員らへの罰則を強化する特定秘密保護法案の国会審議が始まっています。日本を巡る安全保障環境が厳しさを増し、情報漏洩のリスクが高まり、友好国との重要情報の共有が重要であることは理解できます。

しかしこの法案は、特定秘密は防衛、外交、スパイ防止、テロ防止の4分野とされていますが、その指定に関して非常に曖昧で、国会でも指摘されているように「その他」の文言が多く、政府の都合の良いように特定秘密の対象が際限なく拡大解釈できるものになっています。また特定秘密の妥当性をチェックするための第三者機関の設置が論議されていますが、このままでは国政調査権も及ばず行政に対する立法の監視機能が働かないばかりか、司法のチェック機能も働かず、三権分立を無視した憲法原理を踏み越えた法案となっています。

特定秘密の有効期間は上限5年で更新可能ですが、内閣が承認すれば30年超えても期間を延長できるため、永遠に秘密指定が続く可能性があります。「原則公開」を明示し、後世の歴史的検証を受けるといった視点がなければ、恣意的な秘密指定に歯止めがかからず特定秘密の内容に疑念が拭いきれません。更に問題なのは「国民の知る権利」「報道の自由」を制約する可能性があることです。

「通常の取材は対象外」「社会通念上」など言葉自体が曖昧で、捜査当局の判断で報道機関や個人に捜査が及ぶ様な自体になれば大問題です。また「適性評価」は極めて個人的な内容にまで及びプライバシーを侵しかねません。

国の存亡に関わる安全保障上の機密は守らなければなりません、このような憲法や国民の権利をないがしろにする曖昧で疑念の残る法案は、拙速に決めず十分に審議を重ねる事が重要です。それが出来なければ廃案にすることを強く求めます。

草々

100年後の三重県は南国に

環境対策講演会を開催

三重県保険医協会では、平成25年11月21日、アスト

津において環境対策部主催の講演会「三重県の気象変化と地球温暖化」を開催した。講師には津地方気象台

調査官の平野 貴嗣氏を

招いた。参加者は、会員、市民の18人であった。三重県を中心に世界各地の気候変動の歴史と今後100年先へ向けての地球温暖化と気候変動の予測について、詳しい説明を聞くことができた。

世界各国が協調して二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を大幅に削減しなければ、今世紀末には地球上の平均気温は4・8度上昇し、海面は82センチメートル上昇するという。

5人から農作物の種時きの時期や海水の酸性化などいろいろな質問が出て、講師から回答を得た。昨年は日本も含めて世界で豪雨と少雨、猛暑、竜巻、大型台風など大変な異常気象であった。ちょうどCOP19開催中でもあり、時期を得た企画であったと思われるが、参加者が少なく少し残念ではあった。(環境対策部・岡康)